

平成 25 年 8 月 28 日
長崎県福祉保健課

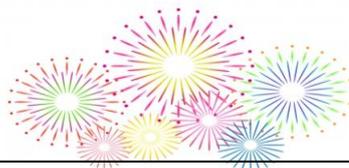
民生委員・児童委員の県ホームページにおける活動記録紹介について

【目的】

- ・ 民生委員・児童委員は、地域において、福祉全般にわたり相談や支援を行っているボランティアです。また、すべての民生委員は児童委員もかねています。
-

- ・ しかし、民生委員・児童委員のなり手の確保が課題となっております。そこで、県民の皆様に、県のホームページに民生委員・児童委員の皆様の生の声を掲載し、民生委員・児童委員の活躍の様子を広くお知らせしていきます。することで、活動に対する理解を深めていただくとともに、地域の皆様の協力の増進につなげたいと思っております。

〈民生委員・児童委員の体験談〉 H25.8



（ 長崎市 土井首地区 氏名：松賀 正己 ）

先日、一人暮らしの老人宅を訪問した時のこと。お体いかが
ですかと言うと、逆に私が元気に過ごしておりますけど、あなた
「こがん暑か時に来て大丈夫ですか」と反対に心配して対応して
くれた。本当に気を使ってくれた事が嬉しく印象に残っております。

（ 五島市 福江地区 氏名：出口 正康 ）

独居高齢者の方から電話があり、ベッドから落ちて動けないので
直ぐ来て欲しいとの由、出向いて見ると身動きが出来ない状態
でしたので救急車を手配して五島病院まで同行、診察の結果
即入院いたしました。

私に最初連絡があったのは定期的に安否確認を実施しており
信頼関係が生まれたと思われます。

〈民生委員・児童委員の体験談〉 H25.10



（ 佐世保市 鹿町・船ノ村地区 担当： ○○ ○○ ）

65才以上の高齢者数は、住民の30%を越えました。

3世代同居も多く、70才以上の独居は5名です。

近隣に親類、知人もあり、ネットワークはしっかりできています。

そんな中、今年は別居していた子供達が、家族を連れ親元に戻り、再び同居を始めました。（4件18名増加）

地域に子供や家族の笑顔が増し、それを見守る近所の励ましがあがり、大変嬉しく思っています。

（ 佐世保市 加勢地区 担当： ○○ ○○ ）

民生委員になって、色々な問題・年取って介護の問題・一人一人の子供に合った子育ての悩み、一家の主人の失業・それに発生する生活困窮など、少しでも話し相手になり、手助けにと、色々な福祉・支援など相談して活動。

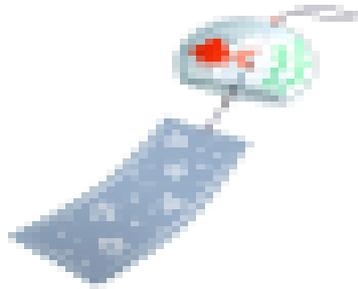
そして「ご苦労様」「ありがとう」など言われた時は、嬉しくなって、疲れが取れました。

そして、辛かった事は、私が車の運転が出来ない事です。高台に住まわれている高齢者さんの家に十分に行けず、電話で済ませることが多かった。



〈民生委員・児童委員の体験談〉 H26.7

(大村市 中地区第一 氏名：田崎 敏昭)



毎月2回民生委員だより **お変わりないですか** を発行し受持

ちのお年寄りに配布かたがた見守りをしています。毎回楽しみに

待ってくださる方もおられ頑張っています。今年9月で100号

になります。

また、誕生日のお祝いのメッセージ（ハガキ）を送っています。

とても喜んでもらっています。



〈民生委員・児童委員の体験談〉 H27.1

(雲仙市 瑞穂地区 氏名：前田 様)



新任のときは難しく考えていた委員活動でしたが、私たちの活動
は、気がけと人の話を良く聞き、関係機関へ繋ぐこと。相談後、
地域の方々から協力を頂き、解決できたことも。地域と一体
となった活動を目指しています。

最後に、ありがとうの一言は、次の活動への導火線です。

